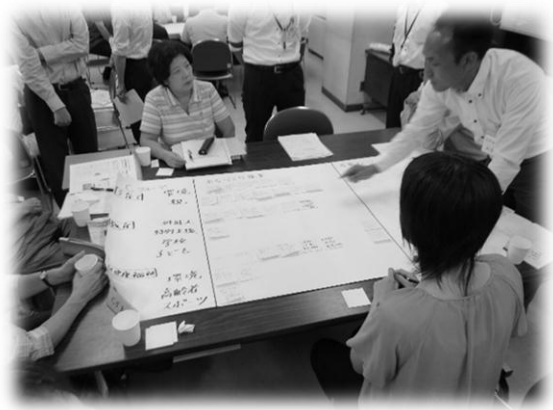


未来のきくがわ まちづくり ワークショップ

in2015

【意見・提言集】



目 次

会議の概要

(1) 会議の目的	1
(2) 会議の運営方法	1
(3) 実施概要	2

会議の成果（意見・提言集）

【Aグループ】 テーマ：産業（農工商）・観光	3
良いところ	3
悪いところ	4
まちづくりの提案	5
特に重点的に取り組むこと	6
【Bグループ】 テーマ：生活（自然）環境・都市基盤・防災	9
良いところ	9
悪いところ	10
まちづくりの提案	11
特に重点的に取り組むこと	12
【Cグループ】 テーマ：子育て・教育・健康福祉	15
良いところ	15
悪いところ	16
まちづくりの提案	17
特に重点的に取り組むこと	19
アンケート（未来のきくがわまちづくりワークショップin2015）	21
おわりに	25

会議の概要

(1) 会議の目的

本会は、第2次総合計画の策定にあたり、市民の皆さんの参加により、話し合いを通じて、市民と行政が協働で取り組むべき、『これからの菊川のまちづくり』について検討し、具体的な提案をいただくための機会として設置しました。

菊川市の姿（良いところ、悪いところ）」についてテーマを設けて再確認するとともに、未来を見据えた「市民と行政による協働のまちづくりの取組」などを含むまちづくりの意見・提案をグループで話し合い、意見・提言集としてとりまとめました。

(2) 会議の運営方法

参加者

・各種団体などの代表者若しくは代表者が推薦する者（23名）で構成しました。

開催日時・場所

【第1回】平成27年 9月18日(金) 午後7時から 市役所2階 201.202 会議室

【第2回】平成27年 9月25日(金) 午後7時から 市役所2階 201.202 会議室

【第3回】平成27年10月 2日(金) 午後7時から 市役所2階 201.202 会議室

進め方

●グループ分け

・会議は、検討テーマに応じたグループを設定し、実施しました。また、3テーマ=グループに分かれて意見交換、提案を行いました。（検討テーマは以下のとおり）

テーマ（グループ）		中心的な検討事項
A	産業（農工商） 観光	◆工業（企業）、商業の産業振興 ◆茶産業・農産物の振興 ◆地域の雇用 ◆観光 等
B	生活（自然）環境 都市基盤・防災	◆生活（自然）環境の整備 ◆コミュニティの推進 ◆都市基盤・土地利用の推進 ◆安心、安全の確保 等
C	子育て・教育 健康福祉	◆子育て支援 ◆スポーツ、文化の振興 ◆教育（学校教育・生涯学習）の推進 ◆福祉（高齢者・健康づくり・医療）の充実 等

●進行について

・各グループで、リーダー、サブリーダーを 1 名ずつ決め、グループでの話し合いをメンバーが主体となって行いました。



(3) 実施概要

開催	開催日時	内 容
第 1 回	9月18日(金) 午後7時 ～9時	○オリエンテーション(全体) ・会議の目的、成果の確認、市の現状等の情報提供 ●グループワーク →市の現状・課題の共有(市の「良い点」・「悪い点」) →将来のまちづくりにつなげるキーワードの整理
第 2 回	9月25日(金) 午後7時 ～9時	●グループワーク ・前回のふりかえり →テーマ別まちづくり提案(「良い点」を伸ばし、「悪い点」を改善・克服するために、みんなができることとは?) →まちづくりを進める主体、(市民、団体、行政)役割について
第 3 回	10月2日(金) 午後7時 ～9時	●グループワーク ・前回のふりかえり →前回の議論の修正、補足 →重点的な取り組み提案のまとめ ●全体 →シール投票、意見の確認 →アンケート記入 ●会の終了

会議の成果（意見・提言集）

【Aグループ】 テーマ：産業（農工商）・観光

【参加者】◎リーダー ○サブリーダー

◎赤堀哲央
山田守道

○碓井崇史
大石芳倫

宮城直美
金田千広

堀 公俊
岩澤克彰

◎良いところ

気象がいい

- 一年を通じて温暖な気候、一年中農業出来る
- 南北に長く様々な作物が作れる
- 気象条件が良い（雪が降らない）
 - ・暖かい
 - ・日照豊富

食べ物おいしい

- おいしいカフェ、レストランがある
- くずしゃり
- ブルーベリー
- 無人販売が多くて安く野菜が手に入る
- 農産物がうまい！色々ある
- 食べ物おいしい

新規参入

- (農)
- 農地借りやすい
 - 若者が頑張っている（地元に戻ってきた）
 - 新規参入しやすい
- (商)
- 商業者が多い、増えている
 - 健全な土木事業者が多い
 - 県内で有名な店の一号店がある

その他

- 加茂地区が発展
- スーパーや薬局など多くて買い物に便利
- 商工会が元気
- 駅前イルミネーション

海外観光客

- 中国人が多い
- 外国人が多い

茶がうまい

- 深蒸茶発祥の地
- 深むし茶をはじめお茶がうまい！
- お茶畑

美しい風景

- 田んぼアート
- 田園風景（棚田や小笠の）
- 南北に広いおかげで様々な風景が楽しめる
- 海が近く山もある
- 棚田がある
- 茶草場農法
- 美しい茶園風景
- 緑が豊か

地域団結力が強い

- 顔見知りが多い
- 人情味がある
- ぎおん祭がある
- 夜店市がにぎやか
- ブルーベリーの郷
- ODORA 座菊川
- お月見コンサート
- 棚田アート
- 富田ホテルの里

工業・企業

- 上場会社がある
- 大手企業と取引のある工場が多い

立地条件が良い

- 交通の利便が良い
- 最近にぎやか（駅北）
- JR（電車、新幹線）
- 国道1号線に近い
- 空港が近い
- 交通に恵まれている
- アクセス、利便性が良くなってきている
- 駅・高速道路がある

▼悪いところ

お茶の問題

- 農業に元気がない
- お茶の価格が安い
- 茶コンテンツがない
- 茶工場が潰れてきている
- 耕作放棄地（園）の増加
- お茶の値が下がったと言う割に買う時の値段は同じ
- 何にでも茶を入れたがる

市の支援

- 市単独での補助や事業が少ない
- 労働力の確保がしにくい
- 企業（働く場）が少ない
- メイン産業がない
- アエルの利用料が高い
- 水道光熱費が高い
- 市のお金がない

観光インフラの不備

- 宿泊施設が少ない
- 屋根付駐車場のある店がない
- 駐車場がない
- 観光スポットが少ない
- 目玉となる観光がない
- 観光地をつなぐ交通手段が少ない
- コンテンツ散在
- 飲食店が点在している

B 級グルメ

- 統一されたグルメがない
- うまいものがない
- B 級グルメがない
- 特産品がない

土地の問題

- 青地が多い
- 家作りすぎ
- 利用しやすい農地がない
- 区画整理
- 高田ヶ原球場（菊川公園）の整備

新規事業がない

- 新しい取組みがない（工農）

駅前の整備

- お店がない
- 商店街が夜店の日以外さびしい（商店街の衰退）
- 茶の実のオブジェ
- 北口がない
- 多人数の宴会場がない

外部発信力が弱い

- PR がヘタ
- 広報に関する農工商、行政のネットワークが弱い
- 美しい農園農村風景を活かせてない（知られていない）
- 菊川のことを知らない人が多い

その他

- 物価高い
- 中高生の遊ぶ場所が少ない
- オシャレな所がない



まちづくり提案

<農工商の活性化>

<p>(農) 新規参入・活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 区画整理（農業用地の確保） 土地の転用をやすくし、農地と宅地の区分けを進める お茶以外への転換 	<p>(農業)</p> <p>行政 土地転用の緩和（農地）</p> <p>行政 農業に係る施設整備補助</p> <p>行政 新規農作物資本金（物）補助</p>
<p>(工) 働き口の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> 労働力の確保 工業インフラ、土地 企業誘致 区画整理（工業用地） 	<p>行政 補完作物転換補助事業</p> <p>行政 お茶に代わる農作物の普及補助</p> <p>市民 モデル事業の展開、JA にモデル事業を示してもらう</p>
<p>(商) 商店街の再興(復活)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 北口を簡易的な物で良いから早く作ってほしい（2020年までに） 飲食街をつくる 	<p>(工業)</p> <p>行政 工業用地の確保</p> <p>行政 広域（大規模）での合同企業説明会実施</p>
<p>(農工商共通) 新規産業の創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新規参入しやすい環境 新規産業を考える企画 	<p>(農業・工業共通)</p> <p>市民 土地等の情報提供</p> <p>市民 地権者の合意の取り付け(説得)</p> <p>(商業)</p> <p>行政 店舗確保</p>

<農工商共通>

<p>6次産業の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 6次産業化 農工商連携の必要性→新しい商品作り→菊川オリジナルみやげ、B級グルメ作り 新たな特産品（酒） ダチョウ、ブドウ等の活用 	<p>(農工商共通)</p> <p>行政 成功事例の紹介</p> <p>行政 研修会の開催</p> <p>市民 販路開拓への協力</p> <p>市民 農協青年部、工商会青年部の連携</p>
----------------	--	--

<観光・情報発信>

<p>観光資源の整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> 田んぼアートの活用 観光資源を新しく作る 人を呼び込める魅力ある観光ルート、新たな観光スポットの創出 	<p>(観光)</p> <p>行政 観光パンフレット等の作成</p> <p>行政 観光事業のバックアップ（アドバイス等）</p>
<p>市の魅力の効果的なPR</p>	<ul style="list-style-type: none"> 外部発信力の強化 インターネットを活用した情報の配信 菊川「道の駅」プロジェクト（道の駅やサービスエリア(SA)、パーキングエリア(PA)等の情報館を利用したイベントの開催や情報発信） 菊川の魅力の再発見 	<p>市民 旅行会社、商工会等の各機関の連携</p> <p>市民 観光NPOの立ち上げ</p> <p>行政市民 「道の駅」をインター前につくる（情報発信）</p> <p>行政 市HPの活用</p> <p>市民 SNS等による情報の拡散</p>

<その他>

規制緩和（行政）	<ul style="list-style-type: none"> ・土地の転用をしやすくする（特に農地） ・新しい作物の立上げ ・ビニールハウスの補助金 	
ネットワーク作り	<ul style="list-style-type: none"> ・農工商業者との連携 ・菊川～小笠の連携強化 	

★特に重点的に取り組むこと【点数（シール投票）】

<ul style="list-style-type: none"> ①農工商の活性化【5点】 ②6次産業の促進【6点】 ③観光資源の整理と効果的なPR【5点】

①農工商の活性化

（関連意見）区画整理

<ul style="list-style-type: none"> ・土地の転換、農地⇄宅地 ・新規産業がはじめやすくなる ・企業誘致しやすくなる ・工場間の連携がしやすくなる ・飲食街を作れる ・駅北口の利便性を上げれる ・商店街の活性化 ・新規農家が土地を得やすくなる ・農村部に人が増える 	<table border="0"> <tr> <td>行政</td> <td>区画の再仕分け</td> </tr> <tr> <td>行政</td> <td>JR とのすみやかな交渉</td> </tr> <tr> <td>市民</td> <td>自治会を含め住民の理解を得る</td> </tr> <tr> <td>市民</td> <td>地権者の合意の取り付け（説得）</td> </tr> <tr> <td>市民</td> <td>土地情報の提供</td> </tr> </table>	行政	区画の再仕分け	行政	JR とのすみやかな交渉	市民	自治会を含め住民の理解を得る	市民	地権者の合意の取り付け（説得）	市民	土地情報の提供
行政	区画の再仕分け										
行政	JR とのすみやかな交渉										
市民	自治会を含め住民の理解を得る										
市民	地権者の合意の取り付け（説得）										
市民	土地情報の提供										

②6次産業の促進

<ul style="list-style-type: none"> ・新たな特産品を考える ・新たなB級グルメを作る ・菊川オリジナル土産を作る 	<table border="0"> <tr> <td>行政</td> <td>生産者と事業者のマッチング機会の提供</td> </tr> <tr> <td>行政</td> <td>研修会等の開催</td> </tr> <tr> <td>行政</td> <td>成功事例の視察研修の実施</td> </tr> <tr> <td>市民</td> <td>多団体の連携</td> </tr> </table>	行政	生産者と事業者のマッチング機会の提供	行政	研修会等の開催	行政	成功事例の視察研修の実施	市民	多団体の連携
行政	生産者と事業者のマッチング機会の提供								
行政	研修会等の開催								
行政	成功事例の視察研修の実施								
市民	多団体の連携								

③観光資源の整理と効果的なPR

<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源を掘り起こす（地名、遺跡、風習） →菊川の魅力の再発見 ・観光ルートの策定 ・外部発信力、インターネット等による発信 ・通年イベントの開催、発信地を作る 	<table border="0"> <tr> <td>行政</td> <td>観光事業のバックアップ</td> </tr> <tr> <td>行政</td> <td>市HPの活用</td> </tr> <tr> <td>行政</td> <td>パンフレット等の作成</td> </tr> <tr> <td>市民</td> <td>情報・資料の提供</td> </tr> <tr> <td>市民</td> <td>旅行会社、商工会等各機関の連携</td> </tr> <tr> <td>市民</td> <td>情報の拡散、個人</td> </tr> <tr> <td>市民</td> <td>SNS等の利用</td> </tr> </table>	行政	観光事業のバックアップ	行政	市HPの活用	行政	パンフレット等の作成	市民	情報・資料の提供	市民	旅行会社、商工会等各機関の連携	市民	情報の拡散、個人	市民	SNS等の利用
行政	観光事業のバックアップ														
行政	市HPの活用														
行政	パンフレット等の作成														
市民	情報・資料の提供														
市民	旅行会社、商工会等各機関の連携														
市民	情報の拡散、個人														
市民	SNS等の利用														



【Bグループ】 テーマ：生活（自然）環境・都市基盤・防災

【参加者】◎リーダー ○サブリーダー
◎藤原喜久郎 ○横山優子 今野広幸 内海 明
影山寿夫 鈴木和義 鈴木勝章 原 功

◎良いところ

自然

- 緑の多い四季を楽しめるまち
- 緑が多い
- 新鮮な野菜をはじめ食物がうまい
- お茶がうまい、また水がおいしい
- 悪臭、汚水、騒音、産廃など少なくなった
- 自然が多く、子ども達の生きた教材に恵まれている

生活の利便性

- 菊川病院、開業医、市が市民の健康維持増進に配慮している
- スーパー等の店舗が充実している
- 犯罪が少ない
- 常に交通安全に心がけるようになった

防災

- 防災の周知が良い
- 市民への給水（十分で安全に確保されている）
- 過去、風水雪が比較的少なく穏やかで過ごしやすい
- 災害が少ない
- 同報無線での伝達が迅速である

地域のまとまり

- 地域の行事に取組む中で市民の幅広い協力が得られる
- 年配者によるボランティア活動が多い
- 地区ごとのまとまりがある
- コミュニティ活動の協調性が良い
- 自治会組織にまとまりがある
- 地区センターが地域住民の活動の場として活用されている
- 地域の人に名前をおぼえてもらった

環境

- ゴミの分別、収集がしっかりしている
- 合併浄化槽の普及で河川の水がきれいになった。（下水道も同様）

道路・水道の利便性

- 水関係の充実（水道）
- 工業用地、住宅用地、商店街等が計画的に開発されている
- 道路整備により旧菊川と旧小笠がより近くなった
- 交通の便もよくどこでも生活しやすい
- 便利、自由、好都合のところである

消防

- 女性消防団員が増加してきた
- 消防団の活動に頼りがいがある
- 消防署が新しくなった
- 消防団と消防署の連携ができています

子ども

- 保育園、幼稚園、学校の保護者の活動が活発である
- 子どもを含めた地域行事が多い
- 小学校の交通教室などで子どもたちとなかよくなれた
- 子どもが挨拶をしっかりとる
- 幼稚園、保育園が整っている

▼悪いところ

自然環境

- カラスが異常に増え、イノシシの出没が多い
- 山林、茶畑、田の荒地が目立つ
- 緑は多いが管理されていない所が多い

子育て

- 産婦人科の病院が少ない

公園

- 市民公園が少ない
- 公園整備が進んでいない

防災の人材

- 消防団員の減少
- 防災用品は揃いつつあるが指導できる人材が少ない
- 市役所に防災のスペシャリストがいない

防災意識

- 各地区の安全な避難場所は本当に安全かわかっていない
- 災害に対する備え、意識が低い
- 自治会において自主防の活動に温度差があるように感じる
- 公助、共助、自助どれもまだまだ

若い世代のコミュニティへの参加

- かつて地域にあった老人クラブ、婦人クラブといった各種団体が減少している
- コミ協に対する理解が少ない
- 名前自体が知り渡っていない（若年層）
- 部会が多いため参加が少ない（若年層）
- コミ協活動に若年層の参加が少ない
- 仕事などでなかなか交通指導などに出られない

働く場所

- 働く企業が少ない

道路整備

- 公共交通が少ない
- インターチェンジが不便
- 道路整備が進んでいない
- 建物や道路等のハードな部分の維持管理の計画性が弱い
- 県道の歩道整備が足りない（通学路）
- 交通事故が多い割りに信号機が足りない

空屋

- 空屋が増え不安が残る
- 空き家対策が足りない

防災設備

- 同報無線が聞えない家がある
- 屋外の防災無線放送が不満足

高齢者のケア

- 一人暮らしの高齢者が増加したが支えとなる人は少ない
- 一人暮らし高齢者が多くなってきた

<生活環境>

レジャーのあるまち	<ul style="list-style-type: none"> 大型店舗と遊園地の共用施設の充実を 年間を通した観光パワースポットを設ける 	<p>行政 下水道の整備</p> <p>行政 企業誘致</p> <p>市民 公園、自然環境を地域で管理する</p>
自然味のある憩いのあるまち	<ul style="list-style-type: none"> 市内全域を公園化する 菊川市の未来の子どもたちへ“自然の大切さ”を継承していく 市内中央を川が流れているので、この川を中心に環境整備する 小公園の合併による中規模公園 	<p>市民 子どもが遊べる公園の草刈り等の管理</p>

<都市基盤>

市民の意見を反映した人にやさしいデザインの整備	<ul style="list-style-type: none"> 大きな公園を増やす 坂道、歩道のあるまち 車も大事だけど、人も大事にする整備 	<p>行政 区画整理</p> <p>行政 道路整備</p> <p>行政 公共交通の充実化</p>
駅周辺のにぎわいと駐車場の整備	<ul style="list-style-type: none"> 駅前商店街をもっと活性化、駅周辺の駐車場が欲しい 	<p>行政 デザインの公募</p> <p>市民 デザインの提案</p> <p>行政 駅北の道路をバイパスにつなげる</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> 土地利用の推進、農業を守るために、青地、白地の区別を明確にして、企業と農業の調和のとれる政策 	<p>行政 駅北側の整備、開発</p> <p>市民 有名な商店を駅周辺によびこむ</p>

<防災（安全）>全ての年代の人に情報が伝わる

より実践的な防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> 消防署と消防団の連携が出来るので市の防災力を強くするため、地区の防災員の方も一緒に訓練を行う 避難訓練だけでなく、助け合い訓練を行う あらゆる事を想定した実践的な伝達訓練を行う 	<p>行政 防災のプロ育成</p> <p>市民 高齢者でも活躍できる機会を設ける</p> <p>市民 全員参加の防災訓練の実施</p>
知識と意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> 各地区で災害についての知識を学ぶ機会を設ける 災害時の対応マニュアルの周知 震災後の避難所の安全性を確認するため応急判定士と自治会との連携を持つ 避難場所の安全性を再確認し、今後の防災指導に役立てる 	<p>市民 市民の防災意識を高める</p> <p>市民 DIG活動を広げる</p> <p>市民 避難場所を見直す</p>

安全なまち	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯の増設 ・田舎道、スクールゾーンの設置による弱者の保護 ・防犯カメラの設置
-------	---

<コミュニティ>

顔の見えるコミュニティづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と日々のコミュニケーションをとる方法を考える（個人情報とは別に考える） ・コミュニティ活動の普及に空家対策を組み合わせる ・若い世代が積極的に参加したくなるようなコミュニティ ・主婦が行政やコミュニティ活動に参加しやすい仕組みをつくる 	<table border="0"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">行政</td> <td>コミュニティ活動の改革</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">行政</td> <td>法改正への働きかけ、空家対策等</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">市民</td> <td>世代間のコミュニケーション</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">市民</td> <td>ボランティア活動充実と組織化</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">市民</td> <td>地域の年代ごとのリーダーを作る</td> </tr> </table>	行政	コミュニティ活動の改革	行政	法改正への働きかけ、空家対策等	市民	世代間のコミュニケーション	市民	ボランティア活動充実と組織化	市民	地域の年代ごとのリーダーを作る
行政	コミュニティ活動の改革											
行政	法改正への働きかけ、空家対策等											
市民	世代間のコミュニケーション											
市民	ボランティア活動充実と組織化											
市民	地域の年代ごとのリーダーを作る											

★特に重点的に取り組むこと【点数（シール投票）】

①四季を楽しめる自然味のあるまちづくり【7点】
②防災に強いまちづくり【3点】
③各年代が参加できるコミュニティ改革【3点】

①四季を楽しめる自然味のあるまちづくり

<ul style="list-style-type: none"> ・ 全域公園化 ・ 茶畑、田んぼを守る 	<table border="0"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">行政</td> <td>農業後継者の育成支援</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">市民</td> <td>公園、自然環境を地域で管理する</td> </tr> </table>	行政	農業後継者の育成支援	市民	公園、自然環境を地域で管理する
行政	農業後継者の育成支援				
市民	公園、自然環境を地域で管理する				

②防災に強いまちづくり

<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に合った防災対策 ・ 防災指導者の育成 	<table border="0"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">行政</td> <td>地域の自主防災リーダーを育てる</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">市民</td> <td>全員参加型の防災訓練の実施</td> </tr> </table>	行政	地域の自主防災リーダーを育てる	市民	全員参加型の防災訓練の実施
行政	地域の自主防災リーダーを育てる				
市民	全員参加型の防災訓練の実施				

③各年代が参加できるコミュニティ改革

<ul style="list-style-type: none"> ・ 顔の見えるコミュニティづくり 	<table border="0"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">行政</td> <td>コミュニティ活動の普及</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">市民</td> <td>誰もが参加できる雰囲気作り</td> </tr> </table>	行政	コミュニティ活動の普及	市民	誰もが参加できる雰囲気作り
行政	コミュニティ活動の普及				
市民	誰もが参加できる雰囲気作り				



【Cグループ】 テーマ：子育て・教育・健康福祉

【参加者】◎リーダー ○サブリーダー
◎高塚和弘 ○小野恵理 稲垣清子
朝居雅子 落合孝行 黒田 潔

太田圭一郎

◎良いところ

子育てする上での環境

- 幼稚園、保育園が充実してきた
- 保健士の訪問充実
- 福祉施設（けやき）
- 公園が整備され、遊び場がある
- 児童館が整備されている

人のあたたかさ

- 子どもを連れてランチをしたりしている様子をお母さん達から聞く機会がある
- 人が穏やかで優しい
- 親子で友達になり、楽しそうに話している姿にほっとする
- あいさつがとても良い
- 人がいい（協力的）
- 世代を超えた交流の場が増えてきた
- 面倒見がいい
- 地域の方の見守りがすばらしい（スクールガードリーダー、あいさつ運動など）

地域愛

- 地域行事が多い
- 祭りなど文化がある、盛ん
- 子どもたちが地域の行事に積極的に参加している
- 地元を愛する（大切にす）子どもが多い
- 児童館での行事が豊富な上、今はアエルでの子どもの行事が多い

教育

- 1学級の人数が少ないため、手厚い教育が受けられる
- 教育の機器が活用されている
- ICTの活用

高齢者

- 高齢者福祉の取組が行われている

利便性

- 新幹線、JR、空港、インターが近い

自然豊か

- 自然と産業のバランスが良い
- 田舎の雰囲気が残っている
- 市内に公園がいくつかあり（地区毎に）身近である
- きれいな公園、子どもの施設が多い
- 芝生のある公園が多い
- 自然が多い
- 自然豊かで子どもの心も豊か

スポーツ環境

- 体育施設が各所にある
- 小さくて古い体育施設でも工夫して利用している（和田公園の小さなプール等）
- スポーツをする機械が多い

特別支援

- 勉強の遅れている子に手を差しのべられる取り組みがある（金銭的な不安もなく）

▼悪いところ

子育てする上での環境

- 公民館の活用が不十分
- 公園は多いが芝生などの整備がなく小さなお子さんが遊びづらい
- 子どもの遊び場が少ない
- 同じような健康づくり事業があり無駄に思う

人のあたたかさ

- 小さな子供に気軽に声をかけづらい

地域愛

- 市民が1つになるキーワードがない
- 菊川の良さが浸透していない

高齢者

- 高齢者が安心して暮らせる環境が不十分
- 一人暮らしの方への関わりが足りない
- 公共交通の問題
- 跡取りがいない（家を出る）
- 高齢になっての医療などの心配がある

利便性

- 菊川病院の医師不足
- 学校（高校）へ通うための交通手段が少ない

スポーツ体制づくり

- スポーツ普及の体制づくりが遅れている
- 体育施設は存在するが古くなり、耐震性が心配
- 体育施設のばらつき

親（母親のケアサポート）

（余裕がない）

- 親の忙しさから、食生活が行き届かなくなるのが心配
- お母さんが急用があったり仕事で遅くなったりして小さなお子さんが淋しく家にいない
- お母さんが忙しく子どもと関わる時間が少ないのではな
- 家庭の教育力が低下しつつある
- 小さなお子さんがいる家庭の防災講座がなく（あまりなく）必要
- 親が働いている分、寂しさを抱える子どもが多い
- 子どもが忙しすぎる
習い事が多い＝親がお金で外に依頼
- 学童保育を必要とする児童が多い
- スポーツや文化講座など気軽に参加できるものがない

（ケアサポートの格差）

- 児童館の来館する親子がほとんど決まっている、新しい方の利用が少ない
- 親子でランチをする様なお店が市内にあまりない
- 安心して子どもが育てられる環境を願う
- 子どもを産む場所がとても少ない
- 子どもが少ない

教育

- ICT を活用した将来ビジョンが不透明
- 市政における教育費が減少している

特別支援

- 特別支援学級に入れない児童のケアが必要
- 障がい児、障がい者に対する理解がない

外国人

- 外国籍の子どもの日本語教育の不足、支援がない
- 外国人の子どもたちとその親のサポートが不足している

発信力不足

- 菊川市の発信力不足
- 先見性が見られない



<子育て>

<p>(環境) 子育てしやすい環境づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人たちが安心して子育てが出来る環境をつくる。教育費の負担軽減（例：給食費の無料化） ・母親達が忙しい合間に時間を取り、気軽に話せる場、楽しいワークショップ等の提供 ・子育てが最も忙しい時（例：上のお子さんが未就園児で第2子のお産前後）のケアの充実 ・どの子にも気軽に声をかけられる大人でありたい、又それを許せる環境であって欲しい ・通学に負担がかからない交通機関の整備 ・休日の園庭、校庭の開放 	<p>行政 託児場所の提供</p>
<p>(親) 母親のサポート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が検診に行きたいが子どもの年齢が小さいため、行けない場合に検診場所近くで託児が出来るようにしたい。 ・孤立した母親への言葉がけ、働きかけを行う ・子育て中で自分の時間がとれない場合（例：病院へ行きたい、市役所で用事を済ませたい等）の子を預かる場、サポートの充実 ・働く親に代わるサポート。学童保育の充実。定員を増やす。増やせるようにする。 ・家庭の教育力を高める講座を開講する ・勇気を出して一歩踏み出せる気軽さ、母親同士の交流の場 	<p>行政 サポーターの育成 市民 サポーターとして活躍</p>

<教育>

<p>(外国人) 異文化交流の促進</p>	<p>外国籍の子ども達も安心して日本の教育を受けられる…定住…人口減少を抑える</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人、異文化交流の場の提供（外国の方（中国の方）託児依頼もあるので、サポートする私達も中国語や文化を少し学びたい） 異文化理解の場を作る 親が気軽に相談できる場所をつくる（仕事、子育て、文化の違いなど） 母国語教育の出来る指導教室の設置 	<p>行政 相談窓口をつくる（なんでもやる課）</p> <p>市民 人材の活用</p>
<p>(特別支援)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育課に教員を配置し、学校教育と社会教育の一体化 ソーシャルワーカー（SW）、スクールカウンセラー（SC）、通訳を中学校区ごとに配置する。 	
<p>(学校・子ども) ふるさと志向力 未来の菊川を担う 人材育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと志向力で貫く教育例) ①有権者教育、模擬市長選(小学生～高校生) ②中学校・高校地域貢献部 ③ICT を活用した起業家教育、空き店舗を利用した模擬商店経営 ④職業体験→菊川版インターシップ ⑤茶を通じた総合学習、校庭の一角にお茶の木を植える 	<p>行政、市民、企業、学校の連携</p>

<健康福祉>

<p>(環境) 公民館の活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> 公民館などを使った健康づくりの充実 公民館、公会堂を開放し集まる場を提供（予防に関するもの（サロン）） 公民館をたまり場にする（Wi-Fi、学習室） 公民館を利用した託児・ママカフェの実施 中高生による学習支援 	<p>行政 相談窓口をつくる</p> <p>行政 コーディネーターの配置</p>
<p>(高齢者・スポーツ) 高齢者の活躍の場づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> 増加する高齢者世帯と近くの人々とのつながりの機会の提供 高齢者の健康増進、高齢者個々にあったスポーツの普及（社会教育課、福祉課、長寿介護課、体協などが行っていることで協力して行う） 昔の隣近所さん、ニーズの掘り起こし 	<p>市民 高齢者ボランティア</p>

★特に重点的に取り組むこと【点数（シール投票）】

①子育てしやすいまちづくり【10点】
②未来の菊川を担う人づくり【8点】
③世代間交流できる場づくり【10点】

①子育てしやすいまちづくり

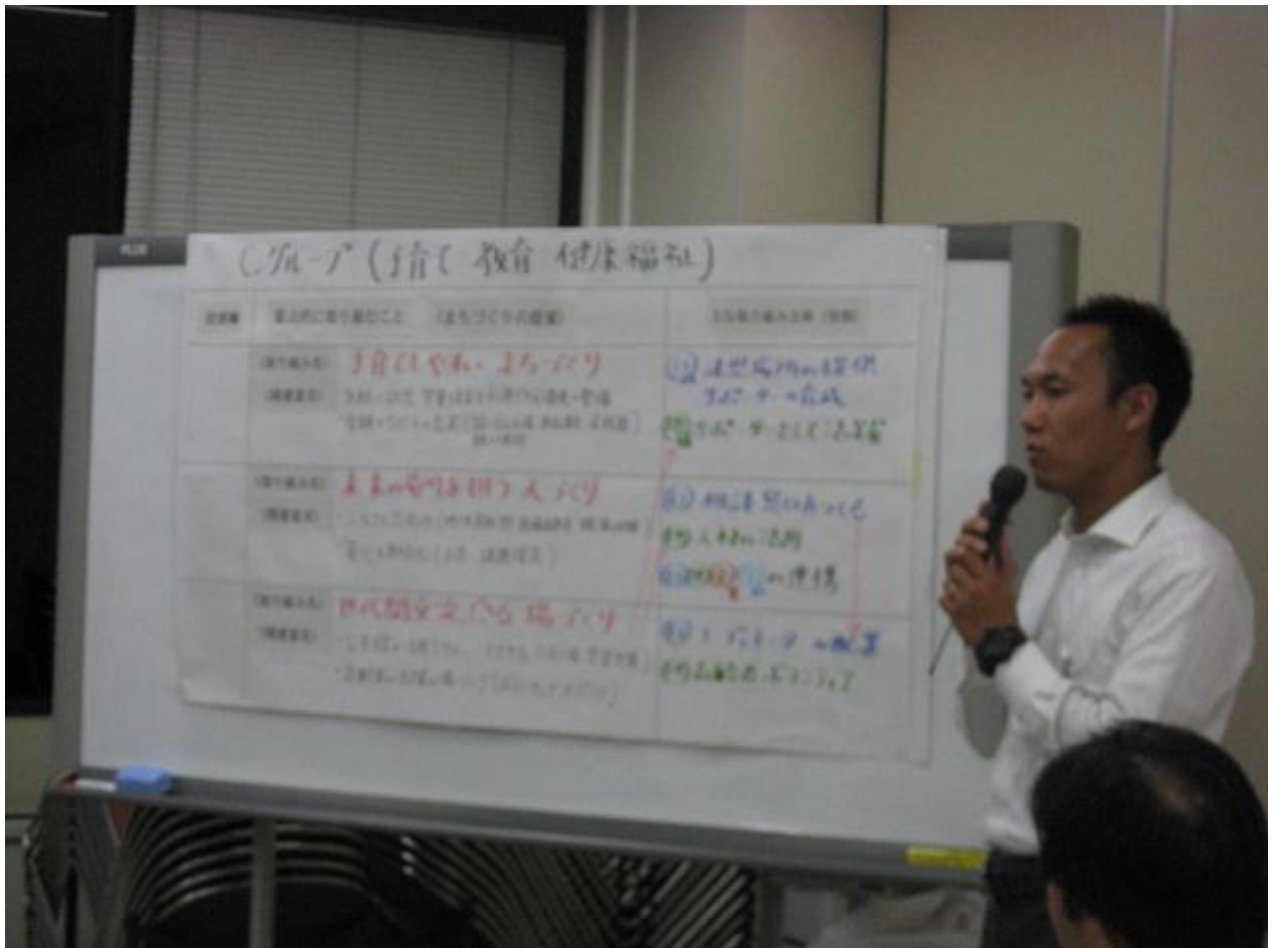
<ul style="list-style-type: none"> ・ 気軽に託児・学童保育を利用できる環境の整備 ・ 母親のサポートの充実（話し合える場・教育講座・金銭面・親の検診） 	行政	託児場所の提供
	行政	サポーターの育成
	市民	サポーターとして活躍

②未来の菊川を担う人づくり

<ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと志向力（地域貢献部、有権者教育、職場体験） ・ 「菊川」を教材化（お茶、課題探求） 	行政	相談窓口をつくる
	市民	人材の活用
	行政・地域・企業・学校の連携	

③世代間交流できる場づくり

<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館の活用（サロン、ママカフェ、たまり場、学習支援） ・ 高齢者の活躍の場づくり（ボランティア、スポーツ） 	行政	相談窓口をつくる
	行政	コーディネーターの配置
	市民	サポーターとして活躍
	市民	人材の活用
	市民	高齢者ボランティア



アンケート

「未来のきくがわまちづくりワークショップ in2015」

Q1. 今回のワークショップに参加してみてどのように感じましたか？

	Aグループ	Bグループ	Cグループ	合計
1. 良かった	6	7	7	20
2. 普通	1	0	0	1
3. 良くなかった	0	0	0	0

Q2. 今後このようなワークショップがあるとすれば参加しますか？

	Aグループ	Bグループ	Cグループ	合計
1. 参加すると思う	5	3	5	13
2. 参加しないと思う	0	0	1	1
3. わからない	2	3	1	6
4. 未回答	0	1	0	1

Q3. ワークショップの進行はどうでしたか？

	Aグループ	Bグループ	Cグループ	合計
1. 良かった	2	5	6	13
2. 普通	3	2	1	6
3. 良くなかった	2	0	0	2

Q4. ワークショップの回数はどうでしたか？

	Aグループ	Bグループ	Cグループ	合計
1. 多かった	0	0	0	0
2. ちょうど良い	1	5	5	11
3. 少なかった	6	2	2	10

Q5. 1回のワークショップの開催時間はどうでしたか？

	Aグループ	Bグループ	Cグループ	合計
1. 長かった	0	0	0	0
2. ちょうど良い	4	6	6	16
3. 短かった	3	1	1	5

Q6. 今回のワークショップに参加して、今後の菊川市がどのようになってほしいか、皆さまのご意見をご記入ください。(自由記述)

Aグループ

- 市になり10年を過ぎたのにやはり小笠、菊川という意識が強くとても気になります。
- 小笠と菊川みんなで住みやすいまちづくりをしてほしいと思います。
- 子どもたちが希望を見いだせるまちづくりをして下さい。大人や地域の方は子どもを育てる政策に力をそえるはずです。プラスより菊川の魅力を発信できる場を検討してください。各地町村には道の駅やSA・PA・観光地のように外から来る人が市の情報を得る場があるはず。
- 他の市民が菊川市に移り住みたくなるように特化したメリットをつくってほしい。子ども一人につき住民税の控除や水道料金の値引き等
- 新しい観光資源を1からつくり、市民に愛される名物をつくる。もともとその場で取れているものを使った名物なら今まで現在どうたされているが、全国的に菊川に来て、したいこと、行きたいと思う理由を作る。
- 生産者・事業者とのマッチングを行う。
- 良い町に。
- 各立場で意見は様々だが、菊川市は茶や農業の維持を図り、食育等も含めて、健康で住み良いまちを目指して欲しい。
- 地元の農家による祭典・防災・子どもたちの通学見守りなど数字に表れない効果は大きいと思う。
- 各団体が連携できるよう、コーディネートしてもらいたい。
- もっとにぎやかな町になってほしい。
- スマートシティを目指し、無駄を無くすことが必要だと思う。

Bグループ

- 生活環境や子育てなど住む人にとって幸せなまちであり、観光産業が発展し多くの人を訪れる魅力のある市になるといいですね。
- 定住促進施策事業と共に高齢化していく町が成り立って行く行政をこれから真剣に考えてもらいたいと思います。
- 安心安全で住みよい市になってほしい。
- 市民の共通認識が持てる菊川市であってほしい。緑の色が絶えることが内容に育て上げていただきたい。
- 年齢差の無い元気な菊川づくり。高齢者を活かせる町と若者が活躍できる町。
- 自然を軸とした街づくりと未来の子どもたちの自然教材(動・植・魚介類)を残していきたい。
- このようなワークショップを各地域にもっと広く行って住民の参加意識を高められたら良いと思います。

Cグループ

- 今後の菊川市が世代間交流が活発に行われ孤立する人がいなくなるように共にいきいき生きるそんな市になって欲しいと思います。子育てが少しでも楽しく尊いことであることを忙しい母親だからわかってほしいと思います。また、高齢者の方々を人生の先輩として心から敬うことが出来たら素晴らしいです。菊川に生まれて人生を全うできて良かったと思える様な精神的にも充実出来たら幸せです。
- とても良い意見がたくさん出てきたと思います。行政の方には少しでもこの意見を反映されるよう努力して欲しいなと思いました。
- 自然も人も生き生きとした菊川市であって欲しい。
- 災害にすぐ対処できるようにしてください。
- 誰もが安心して暮らしやすい菊川市にする（「ほしい」ではなく「する！」）
- すべての世代、立場の人が安心して楽しく暮らせる菊川市になってほしいです。そのために、未来を担う子どもたちをみんな（行政・地域・地元企業・学校）で育てていく体制を整えてほしいと思います。
- ここで話し合われたことが一部の人たちに活用されるのではなく市民の方々にご意見をいただきながら（広報・一般傍聴など）市民の声として市を動かす動きになっていくといい。この意見を受けてトップダウンで施策をうつのではなく、ボトムアップとのバランスのとれた総合計画を策定していただきたい。
- 子どもからお年寄りまで安心してらせるまち。そのためにも若い人たちが楽しく子育てできる環境をつくる。人口減少を止める1つの政策の1つとしてほしい。

Q7. ワークショップ全体をとおしてのご感想をご記入ください。(自由記述)

Aグループ

- 課題?が大きかったのですが楽しかったです。まとまってよかったです(心配でしたが)
- せっかく各分野から代表の人が集まっているので週一くらいでより深く作り上げていきたかったです。
- 浜松市が現在検討をしている、たて割り行政から横と連携をした行政づくり、単年度会計、予算会計の廃止
- ワークショップ内で色々な意見を聞くことができてよかった。
- Aグループでいえばもっと他団体の人の参加。
- 話し合う場としてはとても良く勉強になったが、産業(農工商)はジャンルも様々で、まとまった案の作成は回数を重ねないと難しいと感じた。
- 考えをまとめる時間が足りない。
- Aチームは農関連ばかりだったのでバランスが悪いと思った。

Bグループ

- 普段の生活の中ではあまり考えることのないことを皆さんと改めて話し合うことで自分の住むまちの未来にとっても期待することができました。
- いろいろな素晴らしい意見が出ました。どのように活用されていくのか楽しみにしています。どうか、何も言わなかったのと同じにならないようにお願いします。
- いろいろな意見が出て勉強になりました。
- 項目が大きすぎるので検討項目を絞って討議できたら良いかと思います。
- 大変勉強になりました。今後も地元の活動に参加していきたいと思います。
- 皆様の意見を聞くことが出来有意義でした。
- 短時間に多勢の意見をまとめることの難しさを感じました。

Cグループ

- それぞれの方がそれぞれの立場で菊川のことを本当によく考えていると思いました。若い世代～高齢の方とも話をし、意見交換をしたいなと思いました。
- 進行が順調で意見も出しやすかったと思う。
- 自身が気づけなかった意見も多くあり、今後の自身の仕事にも活かしていきたい。
- 様々な立場の方のご意見をお聞きすることができ、大変勉強になりました。市内で活躍されている方がたくさんいらっしゃり、その方々が集まって話し合うという機会はとても大切だと感じました。
- このような会に参加させていただき、大変勉強になりました。ありがとうございました。今後も教員は多忙といわれますが、ぜひこういった機会に教員も参加させていただければと思います。
- 具体策を出すためにももう少し時間がほしいのではないかと思います。

おわりに

第2次菊川市総合計画を策定するにあたり、住民参加の手法であるワークショップにより、熱心なご議論・ご提案をいただき皆様の意見やアイデアを聞くことができました。

皆様からのご意見・ご提案は意見・提言集として、計画策定に活かしていきたいと考えております。

おわりになりましたが、大変お忙しいなか『未来のきくがわまちづくりワークショップin2015』にご参加いただきまして誠にありがとうございました。

平成 27 年 10 月

菊川市 企画財政部 企画政策課 政策係

TEL : 0537-35-0900

FAX : 0537-35-2117

E-mail : kikaku@city.kikugawa.shizuoka.jp